

# 市内中小企業の支援事業を紹介します

●問い合わせ先 商工振興課商工振興班 ☎(248)1115

## 中小企業者店舗等近代化融資金利子補給

設備資金の融資を受けた場合に利子を補給しています。

▼対象 市内で引き続き3年以上営業し、従業員の数が20人以下の個人事業者や法人

## ▼対象となる設備投資

- ・店舗の新築、増築、改装
- ・個人事業者または共同で整備する、店舗客専用駐車場や公害防止施設
- ・業務に関する備品

## ▼利子の補給内容

- ・毎年1月1日～12月31日に支払った利子額(延滞利子は除く)の5割で、最大36カ月分の利子を補給。
- ※市内中小企業者を利用して設備投資を行なった場合は利子額の10割

## ▼対象金融機関

- 政府系金融機関、肥後銀行、熊本銀行、熊本信用金庫、熊本第一信用金庫、熊本中央信用金庫、熊本県信用組合、熊本県商工業経営安定事業協同組合

## ▼融資限度額

- ・個人事業者や法人 700万円
- ・協同組合 1000万円

## ▼融資利率の上限 8%

## 大規模展示会への出展支援

県外で開催される見本市・展示会などへ出展する経費の一部を助成します。

▼対象企業 市内中小企業者

▼助成額 小間料の2分の1

※旅費、付帯設備や電源使用料などは対象になりません

## 中小企業の人材育成支援

研修受講料の一部を助成します。

▼対象 市内中小企業の経営者、従業員

## ▼対象となる研修

- ・中小企業大学校やポリテクセンター熊本などが実施する研修事業など
- ・中小企業大学校で実施される経営管理養成コースの受講料
- ・中小企業などが2社以上合同で行なう独自の研修(資格取得研修などを除く)の講師謝金など

▼助成額 受講料の3分の2

## ▼申込先 市商工会(ルーフ合志内)

☎(242)0733

※すべての支援について、事前に商工会に申請を行ない、市から承認を受ける必要があります

# 就業構造基本調査がはじまります

●問い合わせ先 企画課企画広報班 ☎(248)1813

## 就業構造基本調査は、正規・非正規雇用者の就業状況の違い、高齢層・若年層の就業状況、育児・介護と就業の関係などについて調査し、これらを全国、地域別に明らかにすることを目的としています。

また、この調査は、国が実施する統計調査のうち、統計法(平成19年法律第53号)という法律により特に重要なものとされている『基幹統計調査』として実施する調査です。

▼調査対象 全国で無作為に選ばれた約54万世帯の15歳以上の世帯員108万人

## ▼調査時期

調査は令和4年10月1日現在で実施します。

## ▼9月上旬

調査員が調査区の全世帯を訪問します。

## ▼9月下旬

調査員が調査対象に選ばれた世帯に調査書類を配布します。

## ▼10月上旬

調査対象に選ばれた世帯は、インターネット、郵送または調査員に提出のいずれかの方法で調査に回答します。

## インターネット回答がおすすめです

インターネットでの回答は厳重なセキュリティ、都合に合わせていつでも回答可能など、たくさんメリットがあります。



令和2年国勢調査では、約40%の方がインターネット回答を選んでいます

## ▼調査結果の活用

就業構造基本調査の結果は、働き方改革の推進に向けた各種取り組みなど、国や地方公共団体の政策の基礎資料として幅広く使われています。回答した内容は、統計法の規定により適正に管理しますので、安心して回答してください。

## 若い世代の声を政治に届けよう

# 18歳、今日からあなたも有権者

●問い合わせ先 選挙管理委員会事務局(総務課内) ☎(248)1112

## 18歳から有権者

平成27年の法改正により、投票できる人の年齢が20歳から18歳に引き下げられています。18歳になったら、これからの社会を担っていく大事な有権者になります。

民主主義においては、選挙権は政治に直接参加できる大切な権利であり、投票することで税金の使い道や法律など、政治を監視することにも繋がります。

## 直近の選挙の投票状況

しかし、現状ではその権利を放棄する人が多くなってきています。左上のグラフは7月に執行された参議院議員通常選挙の本市の世代別の投票率です。平均投票率は51.40%で、有権者の約半数が投票していません。若年層の投票率の低さが目立ちます。

一方で、18歳の投票率は38.67%と少し高くなっています。この主な理由は、初めて投票に行く期待感、学校などでの啓発の成果、家族からの誘いなどではないかと考えています。

## あなたの一票を投じましょう

現在の日本は少子高齢化社会で、若い世代の人口が少なくなっています。国や市などの行方を決める選挙に若い世代の皆さんの意見を反映させるためにも、投票所に行き一票を投じましょう。

選挙管理委員会では市内の小中高校を対象に、随時、選挙の出前授業を行なっています。派遣依頼など、詳しくはお尋ねください。

# 中高生の皆さんと一緒に合志市の未来を考えるワークショップを開催します

●問い合わせ先 企画課 企画広報班 ☎248-1813



本市の最上位計画である総合計画を作るために、まちづくりゲームを利用したワークショップを行ないます。近い将来、成人を迎える中高生に10年後の本市がどうなっていてほしいか考えてもらい、計画の参考にします。若い人の声をどんどん市に届けてください。

▶と き 9月18日(日) 午後6時～8時

▶ところ ルーフ合志1階ホール

▶対象者 (次のいずれかの人)  
①市在住の中学生  
②市在住か、当市へ通学している高校生  
(高等専門学校3年生を含む)

▶申込方法 氏名、住所、電話番号、学校名、学年を記載してメール、または電話で申し込んでください



企画課メール▶

▶申込期限 9月15日(木)



令和4年7月10日執行 参議院議員通常選挙世代別投票率(合志市)

